

## 第7回「会員情報交換会（三日会）」

（6月16日／川崎商工会議所）

第7回は川崎商工会議所において、川崎市の福田紀彦市長より、「『成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまちかわさき』をめざす取り組み」と題してお話をいただいた。



開会にあたり、協会の伊藤副会長（味の素・川崎事業所長）から「市内のあちらこちらの現場を精力的に見て回られており、大変ご多忙にもかかわらず、市長に参加していただき感謝申し上げたい。川崎市をさらに元気にするために我々企業としての課題なども情報交換させていただきたい」との挨拶があった。

福田市長からは、「川崎市はこの7月に市制90周年となる。政令市の中でも過去10年の人口増加率がダントツに高く、若年者の比率も全国平均を上回るなどの特長がある。この川崎を『最幸（さいこう）』のまちにするべく、①安心のふるさとづくりと、②力強い産業都市づくりの2つをキーワ

ードとして、『対話』と『現場主義』で臨みたい。取り組むべき課題は簡単ではないが、魅力ある川崎、力強い川崎をめざして『川崎を、一歩先へもっと先へ』と進めて行きたいので、企業の皆様にもご協力をお願いしたい」とのお話があった。

交流会は12階のラウンジで開催し、小俣会長が乾杯を行ったあと、福田市長との名刺交換や参加者相互の情報交換となり、予定時間を超過したところで閉会となった。

